



さちが丘小学校 学校だより

# 若竹

9 月 号

令和3年9月1日

横浜市立さちが丘小学校

校長 高浜 正太郎

TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

## 気を引き締めて

校長 高浜 正太郎

新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大による神奈川県を対象とした緊急事態宣言の発出に伴い、横浜市においては8月27日（金）より始業を予定していましたが、本日9月1日からの始業と変更になりました。また、緊急事態宣言発出中の9月13日までは分散登校を行うこととなりました。急な変更ではありましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

夏休みが終わり、子どもたちが安心して学校生活を過ごせるように、職員一同、感染防止対策の徹底や学習指導上の留意点、分散登校や緊急受け入れの詳細について共通理解を図り、準備を進めてまいりました。

この夏休み期間中には、1年間延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。パラリンピックは5日（日）に閉会式を迎えます。コロナ禍での開催ということもあり、無観客という形式での競技や試合となりました。各ご家庭におかれましては、テレビ観戦にて毎日繰り上げられる熱戦に多くのご声援を送られていたのではないかと思います。当初から開催自体に賛否両論の声があがっていましたが、マスコミからのインタビューに応じている出場した選手の皆様からは、開催に至るまでの大会関係者や周囲のスタッフ及び協力者、応援してもらった方々に対する感謝の気持ちが「皆様のおかげで…」という言葉に幾度となく込められていました。たくさんの感動を与えてくれた選手の皆様に対しては、感謝の気持ちでいっぱいになりました。それとともに、自分自身も目標に向かって努力し続けようという思いを改めてもたせてもらえました。

また、この夏休みの出来事として、自然災害の恐ろしさを決して忘れてはなりません。九州・四国・中国地方など西日本を中心に線状降水帯が発生して災害級の大雨が降り続けたことにより、河川が氾濫して住宅が浸水する被害や土砂災害が各地で発生しました。今回の災害によりお亡くなりになられた皆様には心よりご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。自然災害に際しては、常に正確な情報を収集するとともに、警戒レベルに応じて素早く非難することなどを教訓として、日々心がけておかなければならないことを実感いたしました。

さらに、災害級の危機と言われるほど、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大と医療体制の逼迫に直面している状況下にあります。このような社会情勢の中、4年生の宿泊体験学習の中止や6年生の日光修学旅行の延期など、誠に残念ではありますが学校行事をさらに見直していく必要が出てまいりました。お暑い中、説明会に出席いただいた保護者の皆様、そして何よりも熱心に計画を立てて楽しみにしていた子どもたちに申し訳なく思っております。

夏休み期間中に起きた自然災害や感染拡大を受けて、今までよりも強い意志をもって「自分の命は自分で守る」努力が必要となってきます。朝会や避難訓練を通して伝え続けてきたことですが、更に一層、我々教職員が先頭に立ち、気を引き締めて子どもたち一人ひとりが心がけていくように指導していきます。特に、新型コロナウイルス感染拡大を防止するためには、「手洗い」「マスクの着用」「消毒」「換気」「密を避ける」「黙食」など、従前から言われている当たり前のことを当たり前のよう実践していくように指導します。

ご家庭におかれましても、毎朝の検温や今まで以上の健康観察を引き続きよろしく願いいたします。また、発熱や風邪の症状等、少しでも体調不良を感じている場合は、無理をせずに欠席させ、経過観察していただくように重ねてお願いいたします。